

人間ドックと脳ドックの受診費用を補助

国保と後期高齢者医療制度加入者

申し込みは5月10日(火)まで

国民健康保険(国保)加入者と後期高齢者医療制度加入者を対象に、半日人間ドックおよび脳ドックの申し込みを受け付けています。

締め切り間近です お早めに申し込みを

▽定員と対象者
■国保加入者 人間ドック800人、脳ドック500人。
⑦4月1日時点で1年以上継続して国保に加入し、保険料を完納している人(40歳以上75歳未満(受診時)の人)の妊娠や入院をしていない人
■後期高齢者医療制度加入者 人間ドック200人、脳ドック150人。
⑧市から被保険者証の交付を受けている人(後期高齢者医療保険料を完納している人)の医療機関に入院していない人
※脳ドックについては、前年度に八幡市の脳ドック助成制度を利用した人は申し込みできません(人間ドックは、申し込み可)

か、国保医療課にお問い合わせください。

▽申込方法
■窓口での申し込み
国保医療課の窓口へ保険証と印かんを持参して申し込みください。

■郵送による申し込み
ハガキまたは封書に1人1枚ずつ、①住所②氏名③電話番号④性別⑤生年月日⑥年齢⑦希望の医療機関名⑧希望の健診(人間ドック・脳ドック・併用ドックのいずれか)⑨希望の胃の検査法(カメラ・バリウムのいずれか)⑩受診が決定した場合、保健指導等の活用のため、受診結果の写しが医療機関から市役所にも提出される事についての同意(⑩「同意する」)を記入し、〒614-8501 国保医療課 人間ドック受付係へ郵送してください。

▽自己負担 受診費用の3割相当額(医療機関・男女・胃部検査法により金額は異なります)
▽受診できる医療機関 市指定の医療機関に限ります。
※医療機関名、費用等、詳細は市ホームページをご覧ください
◆問い合わせ 国保医療課

障がいについて知ろう

今月から障がいの種別ごとに、コラムを連載します。一人ひとりが障がいを理解し、適切なサポートができるよう心掛けていきましょう。

視覚障がいとは、視覚機能に障がいがあるために、全く見えなかったり見えにくかったりする状態をいいます。見えにくい状態には、視力が低い、見える範囲が狭い、光をまぶしく感じる、明るいところではよく見えるのに暗いところでは見えにくい、特定の色がわかりにくいなどがあります。しかし、文字や図の色・大きさを工

視覚障がい

夫すれば見える場合があります。困ります。点字ブロックの上、物や自転車などが置かれていたり、困ります。文字の読み書きが困難です。また、タッチパネル式の機械はうまく操作できません。「見えないからできない」のではなく「見えなくても教えてもらえばできる」ことばかりではありません。

視覚障がい

困ります。文字の読み書きが困難です。また、タッチパネル式の機械はうまく操作できません。「見えないからできない」のではなく「見えなくても教えてもらえばできる」ことばかりではありません。

視覚障がい

困ります。文字の読み書きが困難です。また、タッチパネル式の機械はうまく操作できません。「見えないからできない」のではなく「見えなくても教えてもらえばできる」ことばかりではありません。

サポートするときのポイント
▼前から近づき、自分から名乗り「〇〇です。お手伝いしましょうか」など、声をかけてみましょう。
▼「あちら」「これ」と表現しても理解できません。実際の方向、長さ、大きさなどを具体的に説明しましょう。
▼誘導するときは、自分の肩や腕につかまってもいい、障がいのある人のペースに合わせて進みましょう。
◆問い合わせ 障がい福祉課

肝臓機能障害の身体障害者手帳の認定基準が変更

4月1日から肝臓機能障害の認定基準が変更になり、対象が拡大されました。

変更点
・Child-Pugh(チャイルド・ピュー)分類(国際的な肝臓機能障害の重症度分類。点数が高いほど重症度が高い)の合計点が10点以上から7点以上に
・1級・2級の要件が緩和
詳細については、お問い合わせください。
※4月1日以降に作成された診断書・意見書について適用されます。
◆問い合わせ 障がい福祉課

戦没者遺族相談員
厚生労働大臣から委嘱され、戦没者遺族の恩給や年金・弔慰金の受給、生活上の困りごとなどの相談に応じます。
八幡市担当の相談員
安岡 賢治氏(京田辺市田辺北里24、☎0774-621376)
◆問い合わせ 福祉総務課

平成28年経済センサス活動調査が実施されます!

事業所や企業の経済活動を明らかにすることを目的に、平成28年経済センサス活動調査が実施されます。調査票の回収に伺います。支所等を有する企業については、事前確認させていたいただいた結果に基づき、オンライン回答用のIDまたは紙の調査票を5月中旬に郵送します。なお、紙の調査票での回答の場合は、郵送で提出してください。調査への協力をよろしくお願いします。
◆問い合わせ 政策推進課

「八幡テロ対策ネットワーク」設立

3月14日(月)、八幡警察署で、テロから八幡市を守るという共通の目的で、官民が連携してテロの未然防止に取り組むための設立総会が開催されました。市民の皆さんも、テロの未然防止のための情報提供等にご協力をお願いします。
◆問い合わせ 八幡警察署警備課(☎981-0110)



プラスチック製容器包装のごみ出しにご協力を

①マークがついているものを、プラスチック製容器包装に分別。
②汚れているプラスチック製容器包装は、燃やすごみに分別。(汚れのあるものは、リサイクル不可)
③現在、プラスチック製容器包装と燃やさないごみを隔週(交互)で収集しています。
出す際は、家庭ごみ分別・収集日カレンダーをご覧ください。
* ペットボトル本体は「ではありません!」
ペットボトルは資源物として個別に回収していただきます(キャップ・ラベルは、プラスチック製容器包装です)。お近くの資源物回収場所にお出しください。お近くに回収場所がない場合や、回収場所まで出しに行くことが困難なときは、燃やさないごみとしてお出しいただけます。
※プラスチック製容器包装の袋に、ペットボトル容器本体が混じっていると、回収しない場合があります。ご協力をよろしくお願いします。

ごみのふれあい訪問収集

市では、自分でごみを集積所まで出すことが困難な人の自宅を訪問し、ごみ出し支援と安否確認をしながらごみを戸別収集する、ふれあい訪問収集を実施しています。
▽対象 次の①または②に該当し、自分でごみを集積所に出すことが困難で、身近な人の協力を得られない人
①要介護または要支援の認定を受けている、おおよそ65歳以上の1人暮らし
②身体障害者手帳1・2級を所持している1人暮らし
▽収集方法等 毎週1回(平日)、戸別訪問して玄関先からごみ等(燃やさないごみや燃やさないごみ、プラスチック製容器包装、資源物)を一括収集します。
※訪問の際には、職員が玄関先から、声かけしてごみを収集します。
▽申し込み 環境業務課、障がい福祉課、高齢介護課に置いている申請書に記入し、環境業務課に提出してください。
▽訪問調査と決定 申請内容等を確認するため、職員が訪問調査を行い、審査のうえ、利用の可否決定の通知をします。
◆問い合わせ 環境業務課